大野田だより

武蔵野市立大野田小学校
令和５年度　No.１
４月号
令和５年４月６日発行

http://oonoden-e.musashino-city.ed.jp/

今年度もよろしくお願いいたします

校長　　赤　羽　幸　子

校庭の欅は新緑が眩しく、日毎に葉を大きく広げています。令和５年度がスタートしました。 入学式では新１年生 121 名を迎え、全校児童 813 名、総計 29 学級でのスタートとなりました。登校してきた子どもたちの顔は、新しいことに挑戦する意欲に満ち、輝いて見えました。入学、進級という節目の時を大事にして前向きな気持ちで物事に取り組み、大きく成長する１年となるように、教職員が一丸となって教育活動に携わってまいります。

さて、4 月 1 日に「武蔵野市子ども権利条例」が施行されました。この条例の前文には、以下のような子どもたちの言葉が掲げられています。

「わたしたち子どもは、未来の希望となる種で、無限の可能性や能力があり、それらを発揮することができます。
わたしたちは、平和に生活することができ、さらに豊かで充実した人生を歩むことができます。
わたしたちは、おとなと同じように意見を言い、話し合うことができます。
わたしたちは、自分らしく生きるために、自分で考えて行動することができます。自分の夢を、自由に考えて決めることができます。
そのためには、わたしたちだけではできないこともあり、おとなの協力や支援が必要です。
未来の社会をつくるわたしたちは、知りたいことを学び、十分な教育を受けることで成長できます。
わたしたちは、不安に感じたり、なやんだり、困ったりしたときに、信頼できる人がいる場所で、相談したり、助けを求めたりすることができます。
おとなと子どもは、お互いの権利を理解し尊重し合うことで、それぞれの権利を守ります。
また、わたしたち子どもは、お互いを尊重し合って行動することができます。
わたしたちは、自分自身のことを大切に思い、幸せを感じられるよう、これらのことを願います。
そして、これらの願いが届くようなまちであることを望みます。」

私はこの前文を読んで、子どもたちに秘められた力の大きさや可能性を感じると共に、その力を引き出し、可能性を広げるために教育の果たすべき役割の大きさに身の引き締まる思いがしました。それと同時に、未来の希望となる子どもたちの成長にかかわることの喜びもかみしめています。

子どもたち一人一人が自分のよさや可能性を誇りに思い、他者もかけがえのない存在として尊重し、多様な人々と協働してよりよい未来の創り手となる資質・能力を育んでいくために、教育目標を以下のように設定いたしました。

１　深く考える子【重点目標】　　２　明るく思いやりのある子　　３　強くたくましい子

さらに今年度重点として育てたい力として、次の 3 点を設定しました。

①主体的に取り組む力　②多様な見方・考え方を生かす力　③粘り強く考え、工夫する力

子どもたちが課題を自分事と捉えて主体的に解決に取り組むためには、一方的に情報を受け取り与えられた課題に取り組むだけでなく、自分なりの考えや疑問をもち、他者と情報や意見をやり取りしながら考えを深めていくことが必要です。内容を取捨選択し整理して相手に伝えたり、相手の良い面に目を向けて話を聞いたり、合意形成に向けて互いの立場に配慮しながら話し合ったりする活動を大切にしていきたいと思っています。

また、今年度は武蔵野市教育課題研究開発校の指定を受け、教科横断的な学習や探求的な学習を通して全学年で市民性を育成する教育を推進します。特に５・６年生は「武蔵野市民科」として、主に総合的な学習の時間で実施します。全学年を通して地域の施設や諸機関を訪問したり、ゲストティーチャーを招いたり、取組を発信したりする学習を推進し、地域を身近に感じ大切にしようとする心情を育てると共に、よりよい地域・社会づくりに向けて課題を見つけ探求する学習をすすめ、地域の教育環境を生かした教育活動を推進します。そのためには、学校・家庭・地域の一層の連携協働が必要です。子どもを真ん中に保護者・地域の皆様との絆を深めてまいりたいと思います。

今年度も教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。